

社会資本総合整備計画 中間・事後評価

平成29年 3月

【担当及び関係課】都市整備局都市整備調整課

計画の名称	安全で快適な都市環境の形成と防災性の向上を図る市街地整備		
計画の期間	平成22年度～平成26年度（5年間）		
計画の目標	本市は、平成13年1月に策定した、広島市の都市計画に関する基本的な方針（広島市都市計画マスタープラン）において、「安全・快適で質の高い都市づくり」を基本姿勢として掲げ、それを具体化する都市整備の方針の中で、規制市街地の計画的な更新を進めることとしている。この方針に従って、本市が施行者となり土地区画整理事業を実施することで安心・安全のまちづくり及び防災機能の向上を推進するものである。		
計画の成果目標（定量的指標）	土地区画整理事業を実施することにより、家屋が移転し老朽住宅が少なくなり、公共施設も整備され防災上危険とされる密集市街地減少することを目的とする。		
定量的指標の定義及び算定式	定量的指標の現況値及び目標値		備考
	当初現況値	中間目標値	最終目標値
	(H22当初)	(H24末)	(H26末)
施行区域内の宅地総面積及び仮換地指定済みの宅地面積をもとに仮換地指定率を算出する。 仮換地指定率＝ $\frac{\sum(\text{仮換地指定済みの宅地面積})}{\sum(\text{施行後の宅地面積})} \times 100$ ※仮換地指定率が増加することにより、使用収益が停止され家屋が移転されるため老朽住宅が減少する。	78.5%	82.5%	87.0%

評価事項

1. 要素事業の進捗状況

事業費	H22	610 百万円	<b>【基幹事業】</b> ○広島市段原東部地区都市再生整備計画事業 ・老朽建築物の除却 50棟 ・公園、緑地の整備 公園2箇所、緑地4か所 ・区画道路の整備 7・9・11・12・13工区内の区画道路の整備（別紙1参照） ・防火水槽の整備 2か所（公園内） 上記について、計画どおり除却及び整備を行った。  <b>【関連社会資本整備事業】</b> ○段原東部地区（区画整理） ・計画道路 比治山東雲線 事業区間のうち464.6mの供用を計画し、計画どおり464.6mを供用した。 ・計画道路 新町上東雲線 事業区間のうち359.2mの供用を計画し、計画どおり359.2mを供用した。 ・計画道路 上東雲日出線 事業区間のうち245.6mの供用を計画し、計画どおり245.6mを供用した。 ・計画道路 東雲大州線 事業区間のうち260.3mの供用を計画し、計画どおり260.3mを供用した。 ・計画道路 段原蟹屋線 事業区間のうち312.9mの供用を計画し、計画どおり312.9mを供用した。 ※ 別紙2の事業効果の具体事例を参照のこと
	H23	172 百万円	
	H24	115 百万円	
	H25	— 百万円	
	H26	— 百万円	
	合計	897 百万円	

2. 事業効果の発現状況、目標値の実現状況

要素事業の 効果の発現状況	<b>【基幹事業】</b> ○広島市段原東部地区都市再生整備計画事業 ・当初の計画どおり、事業を実施し安心・安全のまちづくり及び防災機能の向上を推進した。  <b>【関連社会資本整備事業】</b> ○段原東部地区（区画整理） ・当初の計画どおり、都市計画道路の整備を実施し安心・安全のまちづくり及び防災機能の向上を推進した。		
	指標： 仮換地指定率＝ $\frac{\sum(\text{仮換地指定済みの宅地面積})}{\sum(\text{施行後の宅地面積})} \times 100$		
目標値の実現状況	中間目標値 (H24末)	最終目標値 (H26末)	目標値と実績値に差が出た要因 成果目標の達成状況：目標達成
	82.50%	87.00%	
	中間実績値 (H24末)	最終実績値 (H26末)	
	89.00%	89.80%	
要素事業に併せて実施した他事業の 効果の発現状況、及び本計画以外に 設定した目標値の 実現状況	指標：		
	中間目標値 (H0末)	最終目標値 (H0末)	目標値と実績値に差が出た要因 段原東部地区都市再生整備計画で設定している目標値の達成状況 ○ 老朽住宅率(住宅棟数に対する老朽住宅棟数) H21年度末当初現況値 5.0%、H24年度末目標値 0.0% (事業完了に伴い目標達成) ○ 狭隘道路の改善率(地区面積に対する幅員6m以上の道路面積) H21年度末当初現況値 13.3%、H24年度末目標値 31.5% (事業完了に伴い目標達成) ○ 公園等の整備率(地区面積に対する公園・緑地の面積) H21年度末当初現況値 0.0%、H24年度末目標値 3.0% (事業完了に伴い目標達成) ○ 公共下水道の整備率(地区面積に対する下水道の供用開始面積) H21年度末当初現況値 31.8%、H24年度末目標値 100.0% (事業完了に伴い目標達成) ○ 段原東部地区のまちづくりの申し合わせ(紳士協定)の遵守件数(申し合わせを指導し遵守された件数) H21年度末当初現況値 76件、H24年度末目標値 300件 (実績値293件、目標概ね達成)
	中間実績値 (H0末)	最終実績値 (H0末)	

3. 今後の方針

広島市の既成市街地の計画的な更新を進めてきた「段原東部地区」は、H25年度に完了し、H24年度末の実績で目標を達成したことから、今後は、防災に重点を置いた「向洋駅周辺青崎土地区画整理事業」と共に広島市における安心・安全のまちづくり及び防災機能の向上を推進することとする。

4. その他特記事項